

2020年6月

ハチミツの結晶化に関するお知らせ（続報）

発売元 丸石製薬株式会社
製造販売元 日本養蜂株式会社

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今般、弊社製品「日本薬局方ハチミツ」の結晶についてのお問い合わせをいただいております。結晶に関しまして、以下のとおりお知らせいたします。

ハチミツの特性をご理解いただき、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1. ハチミツは、ミツバチがその巣に集めた甘味物を採集したものであり、日本薬局方、生薬の性状に、「本品は淡黄色～淡黄褐色のシロップ様の液で、通例、透明であるが、しばしば結晶を生じて不透明となる」とあります。
結晶しても品質に問題はありません。
2. 外気温、保管状態の影響により(気温が低い、寒暖差が大きい等)、結晶化が進むことがあります。また、ハチミツは天産品です。ろ過工程を実施していますが、花粉は除去できません。花粉など核になるものがあると、結晶しやすくなります。
3. 結晶した場合には、60℃くらいで湯煎してください。結晶が多い場合は、結晶が溶けるまでに時間がかかるので、別の容器に必要量を採取して、湯煎してください。
以下に湯煎による方法を説明させていただきます。
①鍋に水を入れ、火にかけます。
②約60℃近くなったら、火を弱め、ハチミツの瓶の蓋を外して鍋に入れます。
火力を調節し、60℃くらいを保ち、スプーンで攪拌しながら溶かしてください。

結晶の量や状態にもよりますが、約20gを採取し、60℃で湯煎すると、15～20分ほどで溶解します。

結晶を溶かす際の注意事項

- ①蓋をしたまま、加熱を続けると、液が膨張してガラス瓶が破損する恐れがあります。蓋は必ず外して湯煎してください。
- ②ハチミツは加熱しすぎると、褐変化により、色が濃くなり、風味を損なう恐れがあります。湯煎の温度は60℃くらいにしてください。
- ③結晶の量が多いとなかなか溶けないので、必要量を採取して溶かしてください。
- ④早く結晶を溶かす方法として、電子レンジを利用する方法がありますが、この場合も必ず蓋を外していただき、加熱しすぎないようにしてください。
20 gであれば、500Wで30秒ほど温めることで結晶は溶けます。

以上